

社協ふないり

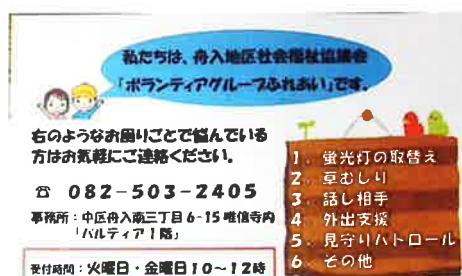
ボランティアグループ「ふれあい」

舟入地区社協 福祉推進委員 黒田政一

ボランティアグループ「ふれあい」は、平成22年12月に設立しました。当初会員は16名でした。最初の活動は、平成23年3月フランス人で、一人暮らしの女性の方でした。足の怪我で歩行困難になられて、室内の清掃、整理整頓でした。その後、小さな困りごとに対応しましたが、段々と依頼も少なくなりました。

再始動のため、平成31年4月ボランティアの会員を募集し、25名となり、困りごとの相談を受け入れ、庭の手入れ、芝刈り、室内の敷物、夏物冬物と入れ替え、蛍光灯の取り換え等をして参りました。

この3年間、新型コロナ感染予防の為。休止をしておりましたが、再度活動を始めるにあたり、会員の皆様に今一度、アンケート調査を行い、引き続きご協力いただけるか、回答をしていただき、ご協力によりボランティアグループ「ふれあい」を持続させて参ります。



以前のお困りごとへのお手伝いの案内状
再スタートではお手伝いの内容を精選します。



ボランティアによる
金木犀の剪定が終わって

発行 舟入地区社会福祉協議会

発行責任者 会長 福井 彰

住所 広島市中区舟入南3丁目6-15

唯信寺内 パルティア 1階

電話 082-503-2405

自主防災～内水氾濫・地震に備えて～

舟入地区自主防災連合会 会長 佐藤清純

大雨が降るたびに、舟入地区は道路浸水、床下浸水に見舞われます。一昨年は市の下水道局に対策を申し入れ、また、今年、江波のポンプ場の見学をしましたが、予算の関係で、江波のポンプ場が整備されるのは2040年着工とのこと。この間は、止水板、土嚢などで対策をするしかないようにです。止水板については、市の補助がありますので、広島市下水道局施設部計画調整課(082-504-2413)へ問い合わせを。土嚢は各公園にブルーシートを掛けて置いてあります。道路の升のつまりは中区維持管理課(082-504-2582)へ、ご連絡下さい。



土嚢が積んである



止水板で水の浸入を防ぐ

地震が起きた時は、

- ①入口のドアを開けておく。
- ②身の安全を確保。テーブルの下にもぐるなど。
- ③揺れがおさまって火の始末を。
- ④家族や隣人の安否確認。
- ⑤避難をする前に、家の電気のブレーカーを落として避難を。

地震に備えて、家具の転倒防止、食器棚の扉が開かない対策を。また、防災グッズを用意しておく。その他、ブロック塀の改修、耐震工事をしておくと、被害が抑えられます。ブロック塀改修の一部補助については、広島市都市整備局指導部建築指導課(082-504-2288)へ問い合わせを。

舟入体協主催 第20回

団体・クラブ別グラウンドゴルフ大会

体協副会長 山田 賢次

3月5日(日)、舟入小学校において舟入体協主催の第20回舟入学区各団体、各クラブ対抗グラウンドゴルフ大会が行われました。雲一つない晴天に恵まれ、開会式のあと9時ごろから、小学校グラウンド、中庭、第二公園を使ってインコース、アウトコースそれぞれ12ホール、計24ホールで競いました。参加した12チームの中で見事優勝されたのは舟入地区老人クラブ連合会Bチームのみなさんでした。1チームの人数は6人ですが、3人ずつに分かれ、他のチームの3人と一緒にコースを回ります。メンバーの合計打数が少ないチームが勝ちとなります。

ホールインワンをすれば、打数が3打マイナスされます。24人がホールインワンをされていますが、一人で3回もされた方がいました。距離や方向を見定めて打つのですが、ベースのゴム板を打ってみたり、木の根っこに邪魔されたり、なかなかうまくいきません。でも、誰かがホールインワンをすればみんなで拍手し、珍プレーでは笑い合い、個人技のレベル差はありましたが、おしゃべりしながらコースを回り、昼までのひと時を楽しく過ごされたようです。



優勝
舟入老連Bチーム

舟入地社協活動拠点パルティアにおける

各サロンのようす

舟入地社協福祉推進委員黒田政一

縁側サロン

毎週火曜日 (10:00~11:30)

おしゃべり、折り紙、塗り絵、将棋等



折り紙、将棋

健康サロン毎月第2金曜日 (10:00~11:30)

健康に関する講演、健康に良い物づくり、健康体操等



新聞紙でトートバッグ作り

あかちゃんひろば毎月第3金曜日(10:00~11:30)

0歳～2歳未満のあかちゃん、

お母さん方の育児相談、あかちゃん検診

クリスマス会



舟入サロン毎月第4金曜日(10:00~11:30)

生活にかかる講演、演奏会等



ハーモニカ演奏